

キャラクター名
 滝夜 紗南 (たきや しゃな)

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン		ワークス	レネガイドビーイングC	カヴァー	情報屋 (なんでも屋)
	オプション		年齢	20代前半(人間体)	性別	なし
覚醒	無知	衝動	破壊	初期侵食率	36 %	
出自	孤独な魂	経験	仲間との接触	邂逅	好敵手	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	0	0	1			1	行動値	9
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	9
精神	4	1	2			7	戦闘移動	14
社会	3	0	0			3	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	5		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
(59)1+2『死霊傀儡』	RC	7r+5		8		コスト: 3/ドッジダイス-1個
(59)0+1+2『死霊傀儡』	RC	7r+5		13		コスト: 3/ドッジダイス-1個
(59)0+1+2+3	RC	7r+5		13		コスト: 6/対象は3体/ドッジダイス-1個/要の陣形
(60)0+1+2	RC	8r+5		13		コスト: 3/ドッジダイス-1個

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 情報屋	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
No22「転生者(リソカーネーション)」	P	N		
"プランナー"都築京香	P 好奇心	N 不信任		
仲間	P 好奇心	N 憐憫		
和御魂(にぞみたま)伊比津美魂(いびつ みつみ)	P 友情	N 憐憫		
真神 瀬那	P 連帯感	N 劣等感		
坂月かづ樹	P 好奇心	N 無関心		
衣良海りね	P 親近感	N 敵愾心		

最大財産P: 6 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定ダメージ+[Lv]個/侵蝕率基本値+5								
リゾント:レジエント	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: [精神]判定の達成値を+[Lv*2]/シーン間								
オウガバトル	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: ダメージ+[LV+2]/メイプ ロイス間								
コンセントレイト:オルクス	2	2	Xジェナー	-	-	-	シンドローム	
効果: C値「-LV」(下限7)								
大地の牙	4	1	Xジェナー	視界	-	対決	-	
効果: 攻+[LV*2]/ドッジダイス-1/同イン不可								
要の陣形	2	3	Xジェナー	-	3体	-	シンドローム	
効果: 対象を3体に1/1ナリLV回まで								
戦闘嗅覚	3	4	Xジェナー	-	-	対決	80↑	
効果: 組み合わせた攻撃力+[精神]/1シーンLV回まで								
イクスプロージョン	1	4※	Xジェナー	視界	範囲(選択)	対決	100↑	
効果: [攻+8]の攻撃を行う/1シナリオにLV回								
不可視の領域	1	-	Xジェナー	至近	[Lv*1000m^2]	自動	-	
効果: 最大[Lv*1000]平方mの場所を隠蔽できる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

そこは戦場だった。弓矢が飛び交い血しぶきが舞う。人の肉、腕、足、切り落とされた首が宙を舞う。血の匂いが鼻をつき吐き気がする。まさに地獄と形容するに正しい場所だった。一撃で死んだ者はまだ幸福であった。死ねなかった者は不幸だった。誰も助けなど来ることもないその場所で息絶えるまで足掻くこともできなかった。吐き捨てられ埋葬されることもなかった戦士たち、その怨念、武者達の成れの果てがオレだった。「ガシャドクロ」、妖怪呼ばわりされる存在であったことを後に知った。

次に意識が生まれたときは人間だった。元の姿に戻ったのか? そう思ったのは一瞬だった。生前とは異なり、まるで子供のようだった。さらに奇妙な力が全身にみなぎっているのを感じた。なんだこれは、わからない、だが、“わかる”。この力があれば“勝てる”“殺せる”“破壊できる”。もうゴロ布のように打ち捨てられることもないだろう。そう理解して(わかって)しまった。

目の前に現れたオンナによるとオーヴァードというものになったらしい。また生きることを強いられてしまった。戦うことを強いられてしまった。宿命からは逃れられないだろう。そう考えながら俺は今日も仕事“殺し”をする。きちんと死ぬその日まで。

 オーヴァードとして覚醒後、時折UGNからも依頼を受けている。基本はどこにも属さないイリーガルのようなもの。